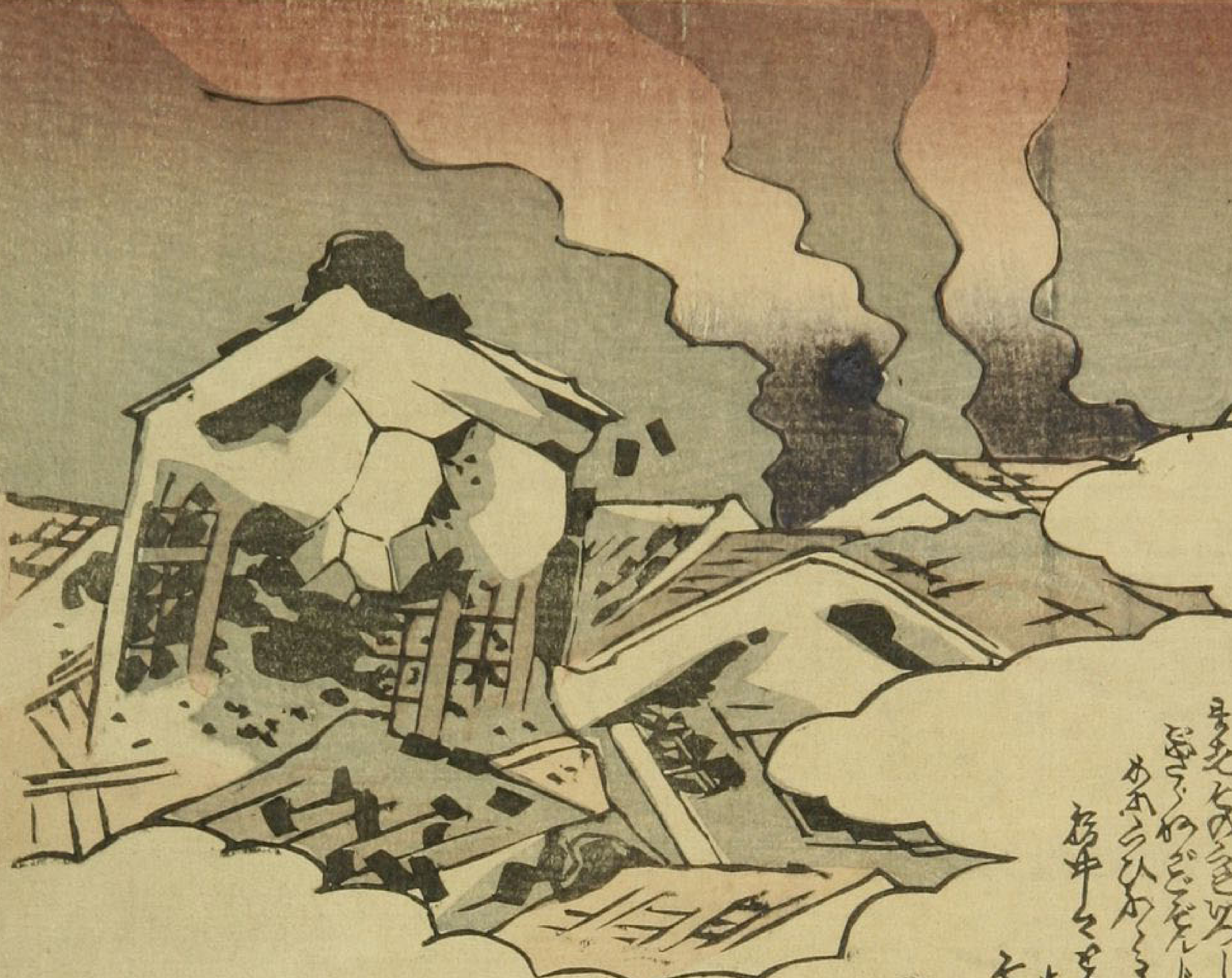
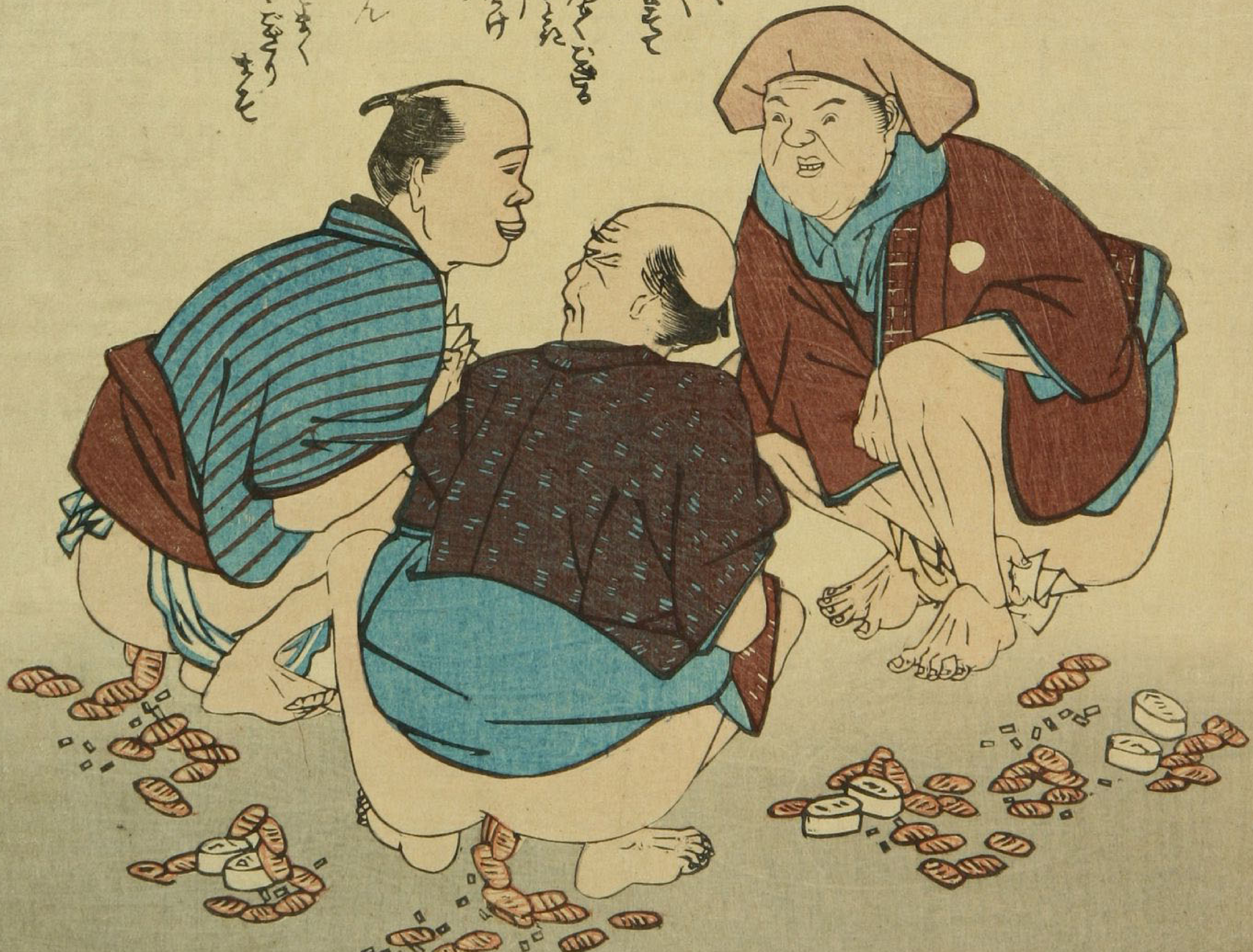
持〇長者扱うへ



これハ／＼ 大方へ
きんらくや 此度御屋所一統ちかとあつく
さまが大被中でございます暑を
ヱ／＼ おくらふ家の軽 長屋
町老ちとどんらんといぎつて
まいつかこのつらひおとず家
きくふあるべうくらそれ
まえその金びつ一番つでも
ぶらくわがざけドのあやつ
かねらひかゝくのつ
さんもんと消すお
あのありましたイヤ
そのせんにくおくらく
がらくとおしまして

ハミ／＼イヤ大きに
ありがたひとさびんなくござる
おたがかねが多くあれ
ものえ人よくつ
あちれそうえかれらけ
まそうへかえつ
子孫長久への
ご命とあり
ますさんまん
事きのかい
なかもをまく
のくびらり
まくと